

Tele time 

Cツール

取扱い説明書

 **コロリス株式会社**

目次

はじめに

取り扱い説明書の使い方 -----	5
必ずお読みください -----	5
サポート窓口 -----	5
取り扱い上の注意／表示について -----	6
保証／機能制限／使用可能なカード -----	8
非接触カードご利用上の注意 -----	8
ご利用前の準備 -----	9
通信ポート／各部の名称とはたらき -----	9

Cツール

基本機能 -----	10
起動 -----	10
テレタイムCの接続 -----	11
ドライバが自動インストールされない場合 -----	12
テレタイムC -----	14
操作画面 -----	14
操作 -----	15
システム設定 -----	16
ネットワーク設定 -----	18
打刻データ -----	19
ユーザー -----	21

テレタイムCクラウド-----	24
操作画面-----	24
操作-----	25
システム設定-----	26
ネットワーク設定-----	28
打刻データ-----	30
ユーザー-----	32

日常処理

基本操作方法-----	35
-------------	----

はじめに

取扱い説明書の使い方

このたびは、「テラタイムC」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本システムはIDカードを使用した簡単な操作で、出退勤時間など必要なデータを確実に蓄積。ホストコンピュータと連動することで、ハイレベルな就業管理を行うことができます。このシステムをご使用前に、取り扱い説明書をご一読いただき、正しい使い方でご活用くださいますようお願い申し上げます。また、操作がご不明な場合など、その都度ご覧ください。

本説明書は、テラタイムC、テラタイムCクラウドと共通になっています。

必ずお読みください

本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信や通話などの機会を逸したために生じた損害などの純粹経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。テラタイムCでSuicaをご利用の場合は以下についてご注意ください。

- 1 利用されるIDカードがSuicaであっても、JR東日本が本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。ご注意ください。
- 2 JR東日本の都合により、予告なくSuicaカードが交換されることがあります。
- 3 Suicaカードを利用する上で不明な点がありましたら、お買い上げいただきました販売会社、またはクロノス株式会社までお問合せください。
- 4 「Suica」はJR東日本の登録商標です。

サポート窓口

- | | | | |
|--------|-----------------|-------------|-----------------------|
| ●メール受付 | 受付のみ | 365日 24時間対応 | support@xronos-inc.jp |
| ●FAX受付 | 受付のみ | 365日 24時間対応 | 03-6853-7781 |
| ●電話受付 | 土曜・日曜・祝祭日・弊社休業日 | | 03-3252-7773 |
- 午前9時半～午前11時45分、午後1時～午後5時30分

取扱い上の注意

■ 本体

- 濡れた手などで操作しないでください。
- 本体のお手入れは、やわらかい布でからぶきしてください。
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤でふきとり、やわらかい布で乾拭きして下さい。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

■ 設置場所

- 本タイムレコーダーは、防滴・防塵などの処理はされていません。室内以外での動作保証はしていません。

表示について

この取扱説明書では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を表しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容表しています。



警告 異常時の処置

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態の場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 万一、本装置が破損した場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 万一、本装置の内部に水や異物が入った場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ACアダプタのコードが傷んだ（芯線の露出、断線など）場合はACアダプタを電源コンセントから抜いてください。火災、感電の原因となります。



警告 火災・感電をさけるために

- ACアダプタのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりしないでください。
- 本タイムレコーダーを分解、改造しないでください。
- 本タイムレコーダーの上や近くに、水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）または、小さな金属類や燃えやすい物を置かないでください。
- 付属のACアダプタ以外は使用しないでください。
- 一般家庭用電源（AC 100V）以外は使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- めれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。
- 近くで雷が発生した時は、ACアダプタを電源コンセントから抜いてご使用を控えて下さい。



注意 火災・感電をさけるために

- ACアダプタ抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 油煙や湯気、ごみ、ほこり、鉄粉、ガスなどが多い場所には置かないでください。
(使用湿度 35~85%)
- 直射日光のあたる場所や温度の高くなる場所には置かないでください。
(使用温度 5~35度)
- お手入れの際は、ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。



注意 その他の注意

- 本タイムレコーダーは日本国内専用です。海外では使用できません。
- 火気の近くでは使用しないでください。
- 長い間ご使用にならない場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。

保証

本タイムレコーダーの保証期間は1年となっています（保証期間延長プランご購入の場合はその期間「最大5年」）。保証書は本書の最終ページにあります。大事に保管してください。

保証期間の開始日は、実際にご使用なるまでの期間を考慮して、出荷日の翌翌月の1日となっています。保証規定については保証期間の下に記載されています。

また、本体裏側にも保証期限のシール（下記参照）が貼られています。ご確認ください。

型 式	ITC-7101	クロノス株式会社
製造番号	7020001	
保証期間	5年	
保証期限	2022年3月31日 まで	

機能制限

- 本タイムレコーダーと連動する就業管理ソフトは「クロノス」のみです。「たんぼぼ」とは連動しませんのでご注意ください。

使用可能なカード

- 非接触カード：ISO14443 type-A、FeliCa

非接触カードご利用上の注意

●読取時

本システムは非接触 IC カードが固有にもつ ID 番号を読み取っています。財布やパスケースなどに複数枚の非接触 IC カードがある場合は、本システムで登録されたカード以外を読み取って「エラー」として判定する場合があります。カードが複数枚ある場合は、ケースから取り出してご使用ください。また、FeliCa 用の交通系パスケースに TYPE-A カード を入れると著しく感度が低下します（これは FeliCa に特性をマッチングさせているので、TYPE-A が影響を受けためです）。この場合もケースからカードを取り出してご使用ください。

●携帯方法

非接触 IC カードには、IC チップが内蔵されています。携帯する際には以下の行為は差し控えてください、中の IC が破損します。

- 財布の中でコイン等と一緒に保管する。
- お尻のポケット等、カードが曲がるような場所に携帯する。

■ご利用前の準備

●商品構成

- 本体
- USB ケーブル（電源アダプタ付）
- C ツール
- 本取扱説明書（操作マニュアル）

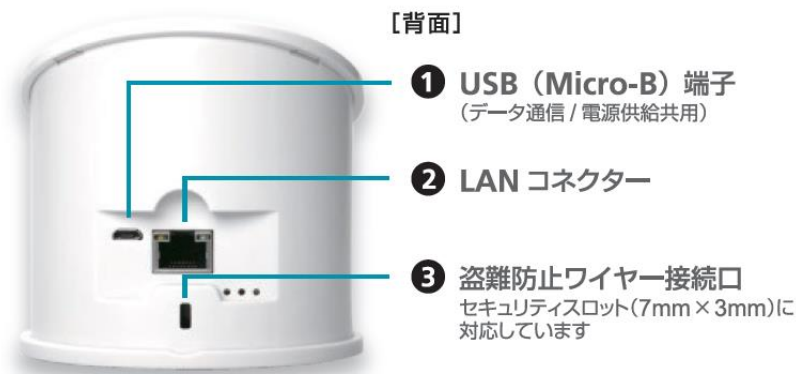
●製品構成

「テレタイム C」を使用するためには、就業管理システム「クロノス」が必要となります。

■通信ポート

本システムで利用するポート番号は「10500」です。

■各部の名称とはたらき



Cツール

テレタイムCは操作パネル等が一切ないため付属のツールですべての設定を行います。ツールは本体と同梱されていますので、任意のPCでご利用ください。インストール等は一切不要です。

基本機能

Cツールの基本機能は以下の7点です。

- IP アドレスの設定
- カードの登録
- テレタイムへのマスター送信
- 打刻データ受信
- NTP サーバーの設定
- ファームウェアの更新
- 運用設定



起動

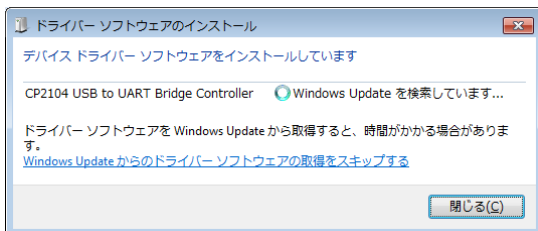
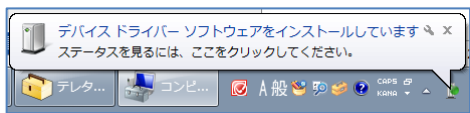
- ① Cツールを起動する PC とテレタイムCを付属の USB ケーブルで接続します。



- ② 付属メディア「App」フォルダ内にある「CTool.exe」を任意のフォルダにコピーして実行します。

テレタイムCの接続

PC にテレタイム C を接続するとドライバを自動でインストールします。



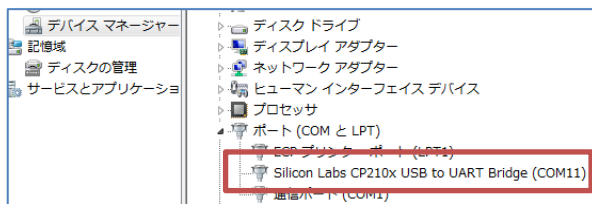
インストール完了後、PC からは COM ポートとして認識されます。

※画面例の場合は COM11 として認識されています。



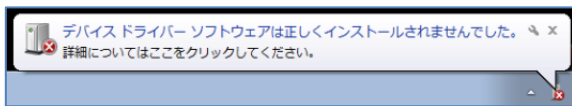
接続確認

デバイスマネージャーを開き、ポート(COMとLPT)に「Silicon Labs CP210x USB to UART Bridge (COM)」が登録されていれば正常に接続されています。

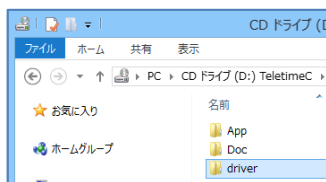


ドライバが自動インストールされない場合

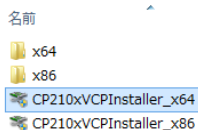
ご利用になる PC の設定によってはドライバが正常にインストールされない場合があります。その場合は付属メディア内にある。ドライバを手動でインストールする必要があります。



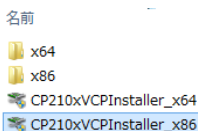
- ① C ツールメディア内の「Driver」フォルダを選択します。



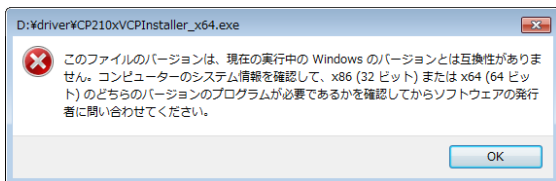
- ② PC のシステムの種類に沿ったプログラムを実行します。
- 64 ビットオペレーティングシステム
→ CP210xVCPInstaller_x64.exe



- 32 ビットオペレーティングシステム
→ CP210xVCPInstaller_x86.exe



- システムの種類と違うプログラムを実行すると以下のエラー画面が表示されます。



- ③ 右の画面が表示されるので「次へ」をクリックします。



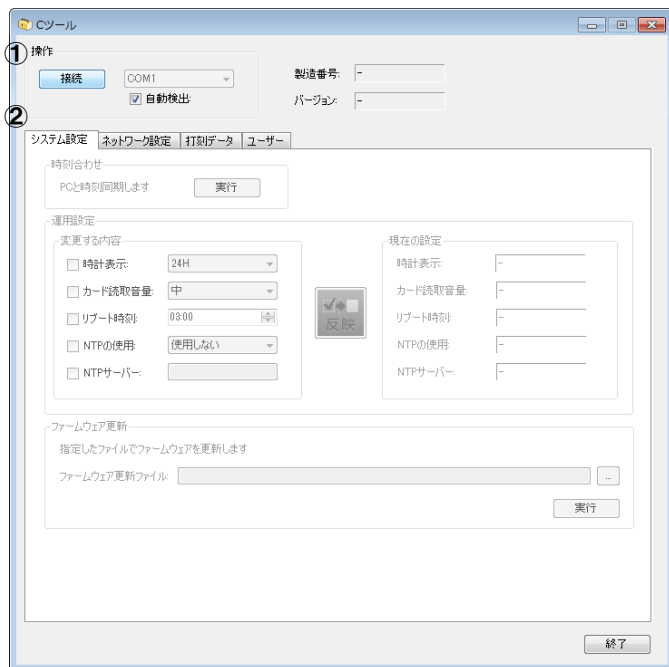
- ④ 「同意します」を選択して、「次へ」をクリックします。



- ⑤ 「完了」をクリックして終了します。



操作画面



① 操作

テレタイム C との接続、製造番号やバージョン表示をおこないます。

② 各種機能

システム設定、ネットワーク設定、打刻データ、ユーザー機能が利用できます。詳細については次頁より説明します。

操作

テレタイム C へ設定を反映させるためには、C ツールとテレタイム C を接続する必要があります。



① 接続

「接続」をクリックをするとテレタイム C と接続します。

自動検出にチェックを入れた場合、自動的に最初に検出したテレタイム C と接続します。PC にテレタイム C を複数台接続しているような場合は、自動検出のチェックを外して任意に COM 番号を選択してから「接続」をクリックしてください。

② 状態

接続に成功すると、テレタイム C の製造番号とバージョンを表示します。



C ツールとテレタイム C の接続が完了後、各種設定が可能になります。

システム設定

システム設定をおこないます。「変更する内容」の設定したい項目にチェックを入れて設定を変更し、「反映」をクリックすると「現在の設定」が変わり、テレタイム C へ設定が反映されます。

※本設定は就業管理システム「クロノス」からも設定可能です。

① 時刻合わせ

「実行」をクリックでテレタイム C へ PC の時刻を送ります。

② 時計表示

時計表示を午前・午後の 12 時間制か、24 時間制で表示する設定です。

③ カード読取音量

スピーカーの音量をなし／小／中／大の 4 種類から設定します

④ リポート時刻

1 日 1 回のリポート時刻を設定します。利用者がいない（少ない）時刻を設定してください。

⑤ NTPサーバーの使用

する／しないの設定をします。

⑥ NTPサーバー

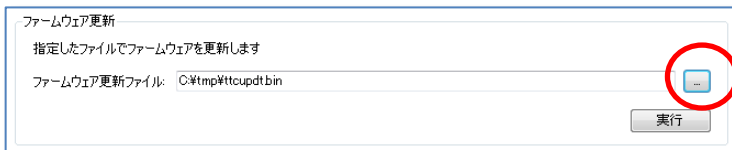
⑤で「する」を指定した場合は NTP サーバーのアドレスを登録します。



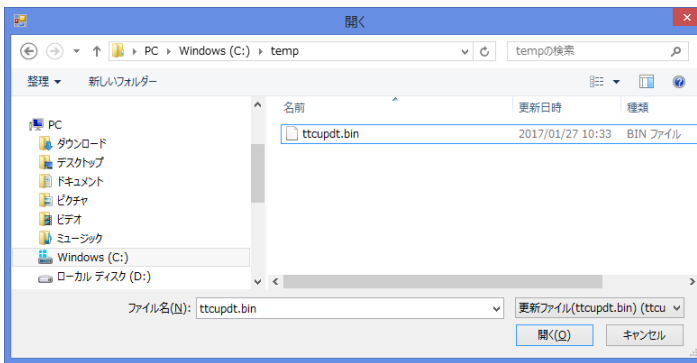
NTP (Network Time Protocol) はコンピューターの内部時計を、ネットワークを介して正しく調整するプロトコルです。NTP サーバーを指定することで、リブート時刻に時刻補正をおこないます。

⑥ ファームウェア更新

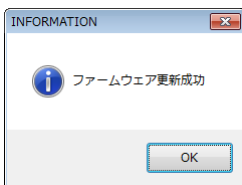
テラタイムCのファームを更新する場合に使用します。



「...」 ボタンをクリックして更新ファイルを指定します。



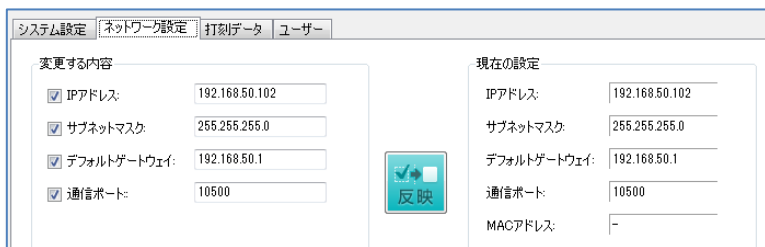
「実行」をクリックでファームウェアの更新が始まり、更新に成功すると以下の画面を表示します。



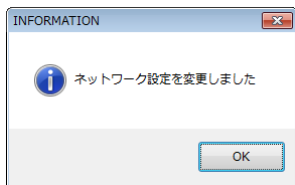
ネットワーク設定

ネットワークの設定ができます。通信を LAN で行う場合は、必ずネットワーク設定が必要となります。

画面右に現在の設定（初期値）が表示されます。設定を変更する場合は、画面左の「変更する内容」の変更したい項目にチェックをいれて、値を設定してください。



「反映」ボタンをクリックするとテレタイム C へ設定値が反映されます。



① IP アドレス

設定する IP アドレスを設定します。

② サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。

③ デフォルトゲートウェイ

テレタイム C を設置する通信環境のデフォルトゲートウェイを設定します。

④ 通信ポート

使用する通信ポートを変更する場合に設定します。クロノス側の設定変更も必要になるため通常は変更しないでください。

打刻データ

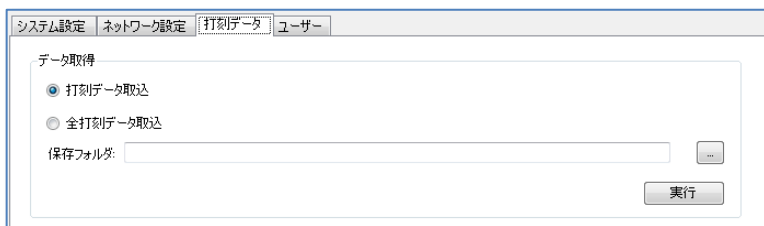
レタイム C がクロノスと直接通信ができない環境の場合には、C ツールを利用して打刻データを取り出すことが可能です。

① データ取得

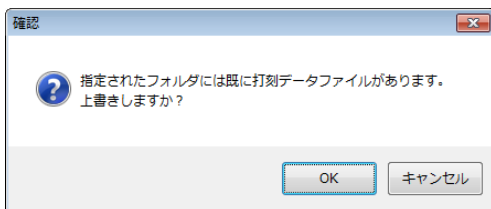
データの取得方法には以下の 2 通りの方法があります。

取得方法	説明
打刻データ取込	打刻データを取得します。 一度取得した打刻データは取得しません。
全打刻データ取込	一度取得した打刻データを含め、タイムレコーダの中にあるすべての打刻データを取得します。

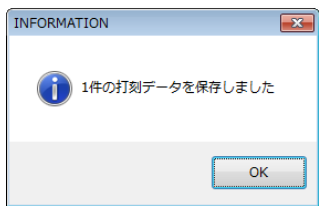
通常は「打刻データ取込」を実行します。打刻データは保存フォルダへ「stamp.xml」ファイルとして格納されます。



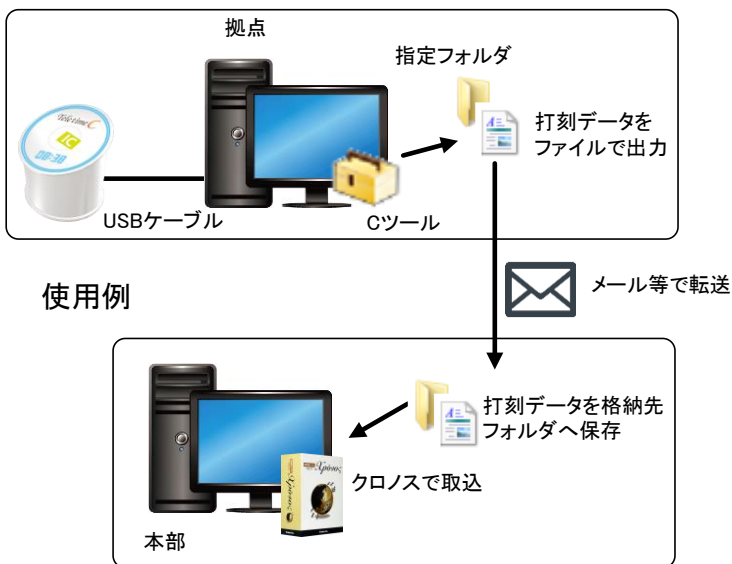
保存フォルダに打刻データがある場合は、以下の注意が表示されます。「OK」をクリックするとデータが上書きされるので気を付けてください。



打刻データの保存に成功すると以下のメッセージを表示します。



取り出した打刻データはクロノスを利用できる環境へメール等で転送し、クロノスの「フォルダ」取込で勤務処理をすることができます。



ユーザー

テレタイム C のマスター変更、カード変更ができます。

テレタイム C とクロノスが直接通信できない環境の場合に本ツールを利用してカード番号を登録します。

システム設定 | ネットワーク設定 | 打刻データ | ユーザー

マスター変更

指定したファイルでユーザーマスターを更新します

実行

カード情報

マスター取得 絞り込み: 絞り込み

IDコード	名前	IDm/UID	IDm/UID更新日時		
00000003	村本保葉美	0101091098177C05	2017/02/17 09:58:24	読み込み	クリア
00000004	後田 あゆ	CLEAR	2016/08/26 11:06:18	読み込み	クリア
00000005	庵中 信明	47214A5D00000000	2016/10/21 16:50:34	読み込み	クリア
00000006	海崎 亮二	D75D4A5D00000000	2016/10/21 16:54:11	読み込み	クリア
00000007	安藤 純子	CLEAR	2017/02/17 01:28:52	読み込み	クリア
00000008	関 美穂子	D7614A5D00000000	2016/10/21 16:57:39	読み込み	クリア
00000009	吉田 昌子	CLEAR	2017/02/17 01:28:49	読み込み	クリア
00000010	田富 弘	F7724D5D00000000	2016/12/16 09:37:46	読み込み	クリア
00000011	市山 貴子	B7534A5D00000000	2016/10/21 17:02:38	読み込み	クリア
00000012	綱引 来入	375CF25C00000000	2017/02/16 14:33:07	読み込み	クリア
00000014	井中 由紀	CLEAR	2016/10/21 19:05:24	読み込み	クリア
00000015	玉中 尚人	E7F74D5D00000000	2016/12/16 10:34:09	読み込み	クリア

ファイル保存

カード情報を指定したフォルダにファイルに保存します

実行

① マスター変更

クロノスから出力したマスターファイル「user.xml」を指定して、実行するとテレタイム C クラウドへマスターファイルを反映します。

② 絞り込み

読み込んだマスターは絞り込み機能で絞り込むことができます。

マスター取得 絞り込み: 石山 絞り込み

IDコード	名前	IDm/UID	IDm/UID更新日時	
00000030	石山 信治	011A00B2A00E6D20	2015/01/22 15:29:53	読み込み

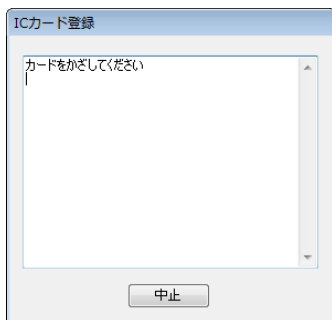
③ カード変更

テレタイム C に登録されているカード情報を変更できます。

使用しているカードの紛失した場合や、変更したい場合に C ツールを使用して変更することができます。

IDコード	名前	IDm/UID	IDm/UID更新日時		
000000005	庵中 信明	47214A6D00000000	2016/10/21 16:50:34	読込	クリア

「マスター取得」ボタンをクリックして、テレタイム C のマスター一覧を取得し、変更したい氏名を選択した状態で「読込」ボタンをクリックします。



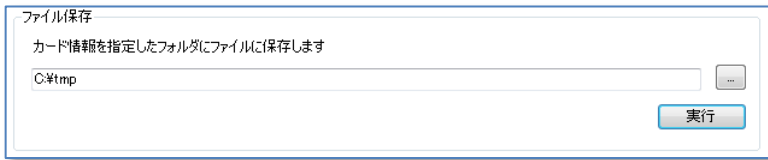
カード番号が登録できる状態になると、テレタイム C は紫に点滅しますので、変更したいカードをかざしてください。

IDm/UID と、更新日時が更新されていれば、カードの変更が正常に完了されています。

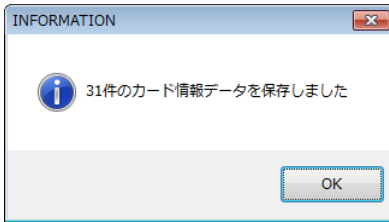
IDコード	名前	IDm/UID	IDm/UID更新日時		
000000005	庵中 信明	011473FC1316A650	2017/04/19 09:24:53	読込	クリア

④ ファイル保存

変更したマスターを指定したフォルダへ保存します。



実行ボタンをクリックで指定したフォルダへファイル名「idm_receive.xml」が保存されます。



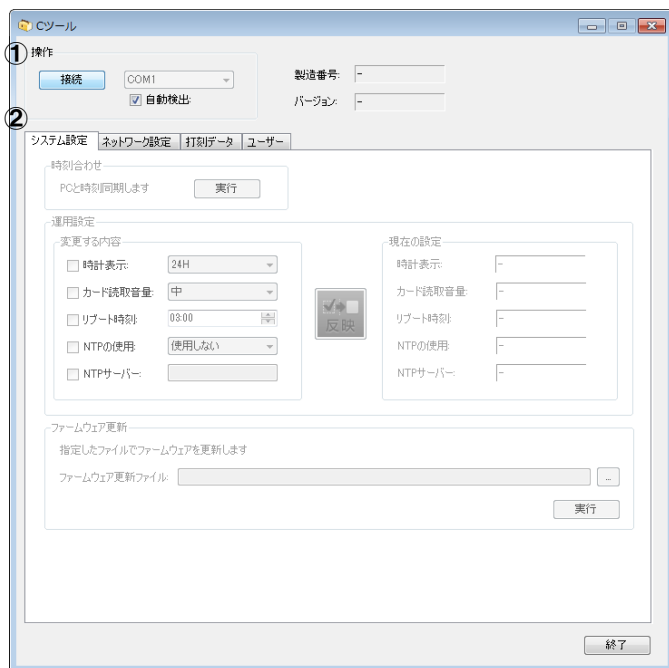
「idm_receive.xml」はクロノスへ取り込むことで、クロノス側のマスターが更新されます。



テレタイム C では、カードをタッチするとそれぞれが持つ固有の ID 番号を読み取り、時刻と紐づけます (ID 番号+時刻)。この ID 番号を、クロノスで管理する ID 番号と紐づけることにより、クロノスでの勤怠処理が可能となります。

UID(Unique ID : 固定 I D 番号)とは Mifare(マイフェア)カードで呼称され、IC カード製造時に IC チップに記録され書き換えができない固有の I D 番号です。FeliCa カードでは IDm と呼称されます。

操作画面



① 操作

テレタイム C クラウドとの接続、製造番号やバージョン表示をおこないます。

② 各種機能

システム設定、ネットワーク設定、打刻データ、ユーザー機能が利用できます。詳細については次頁より説明します。

操作

テレタイム C クラウドへ設定を反映させるためには、C ツールとテレタイム C クラウドを接続する必要があります。



① 接続

「接続」をクリックをするとテレタイム C クラウドと接続します。

自動検出にチェックを入れた場合、自動的に最初に検出したテレタイム C クラウドと接続します。PC にテレタイム C クラウドを複数台接続しているような場合は、自動検出のチェックを外して任意に COM 番号を選択してから「接続」をクリックしてください。

② 状態

接続に成功すると、テレタイム C クラウドの製造番号とバージョンと識別番号を表示します。



C ツールとテレタイム C クラウドの接続が完了後、各種設定が可能になります。

システム設定

システム設定をおこないます。「変更する内容」の設定したい項目にチェックを入れて設定を変更し、「反映」をクリックすると「現在の設定」が変わり、テレタイム C クラウドの設定が変更されます。

※本設定は就業管理システム「クロノス」からも設定可能です。



① センター接続確認

「実行」をクリックでテレタイム C クラウドとテレタイムクラウドサーバーが正常に接続されているかテストをします。



② 時計表示

時計表示を午前・午後の 12 時間制か、24 時間制で表示する設定です。

③ カード読取音量

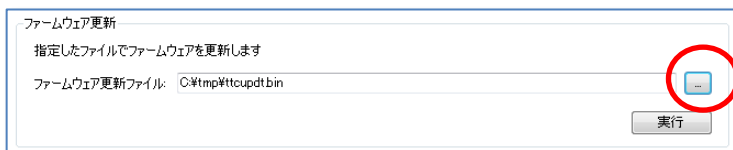
スピーカーの音量をなし／小／中／大の 4 種類から設定します

④ リポート時刻

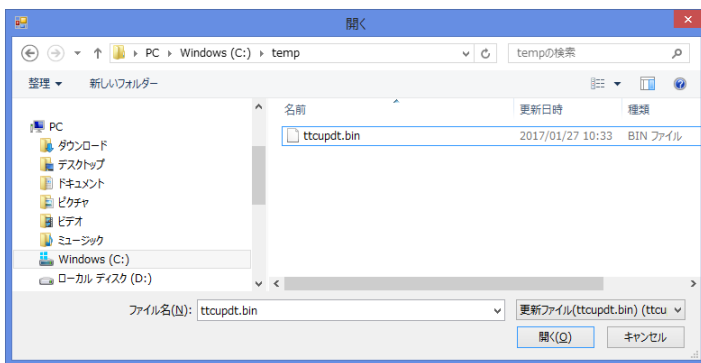
1 日 1 回のレポート時刻を設定します。利用者がいない（少ない）時刻を設定してください。

⑥ ファームウェア更新

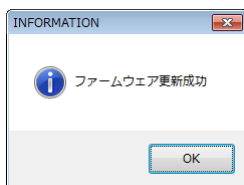
テレタイム C クラウドのファームを更新する場合に使用します。



「...」 ボタンをクリックして更新ファイルを指定します。



「実行」をクリックでファームウェアの更新が始まり、更新に成功すると以下の画面を表示します。



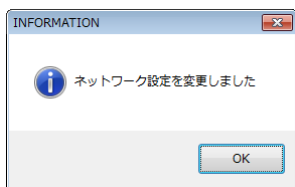
ネットワーク設定

クラウドで利用する際にネットワークの設定ができます。

画面右に現在の設定（初期値）が表示されます。設定を変更する場合は、画面左の「変更する内容」の変更したい項目にチェックをいれて、値を設定してください。

変更する内容	現在の設定
<input checked="" type="checkbox"/> DHCP: 使用する	DHCP: 使用する
<input checked="" type="checkbox"/> IPアドレス: 192.168.50.102	IPアドレス: 192.168.50.211
<input checked="" type="checkbox"/> サブネットマスク: 255.255.255.0	サブネットマスク: 255.255.255.0
<input checked="" type="checkbox"/> デフォルトゲートウェイ: 192.168.50.1	デフォルトゲートウェイ: 192.168.50.1
<input checked="" type="checkbox"/> DNSサーバー取得: 自動	DNSサーバー取得: 自動
<input checked="" type="checkbox"/> DNSサーバー:	DNSサーバー: 192.168.50.10
	MACアドレス: 00:C1:4F:00:1D:4F

「反映」ボタンをクリックするとテレタイム C クラウドへ設定値が反映されます。



① DHCP

DHCP の設定です。DHCP を使用しない場合は、「使用しない」に設定してください。初期値は DHCP を使用するに設定されています。



DHCP とは

インターネットに接続しようとするパソコンや周辺機器などに対し、IP アドレスやサブネットマスクなど、必要な情報を自動的に割り当てる仕組みのことです。

② IP アドレス

設定する IP アドレスを設定します。

③ サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。

④ デフォルトゲートウェイ

テレタイム C クラウドを設置する通信環境のデフォルトゲートウェイを設定します。

⑤ DNS サーバー取得

DNS サーバーのアドレス取得方法を設定します。DHCP を使用せず、任意のアドレスを使用する場合は、「手動」を設定する必要があります。初期値は DHCP による「自動」取得に設定されています。

DNS サーバーの設定がないとテレタイムクラウドへ接続できませんので、手動に設定する場合は、ネットワーク環境に合わせた適切な値を入力してください。



DNS サーバーは、「ドメイン名」を、「IP アドレス」に変換して関連づけてくれるシステムが入ったサーバーのことです。テレタイムクラウドへ接続するために必要な設定となります。

打刻データ

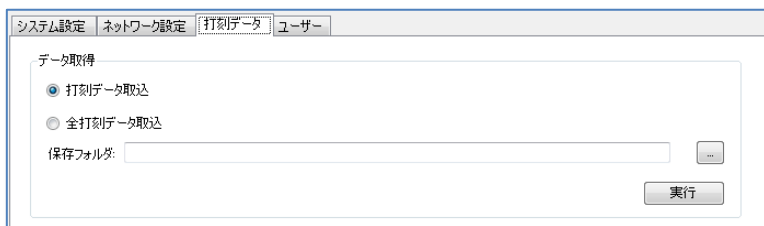
テレタイム C クラウドがテレタイムクラウドセンターと通信ができない場合、応急処置として、Cツールを利用して打刻データを取り出すことができます。

① データ取得

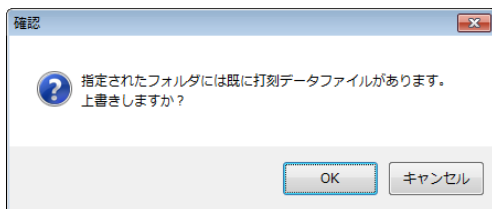
データの取得方法には以下の2通りの方法があります。

取得方法	説明
打刻データ取込	打刻データを取得します。 一度取得した打刻データは取得しません。
全打刻データ取込	一度取得した打刻データを含め、タイムレコーダーの中にあるすべての打刻データを取得します。

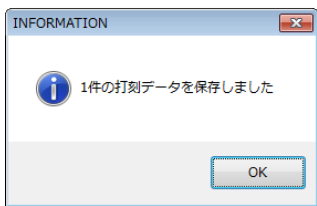
通常は「打刻データ取込」を実行します。打刻データは保存フォルダへ「stamp.xml」ファイルとして格納されます。



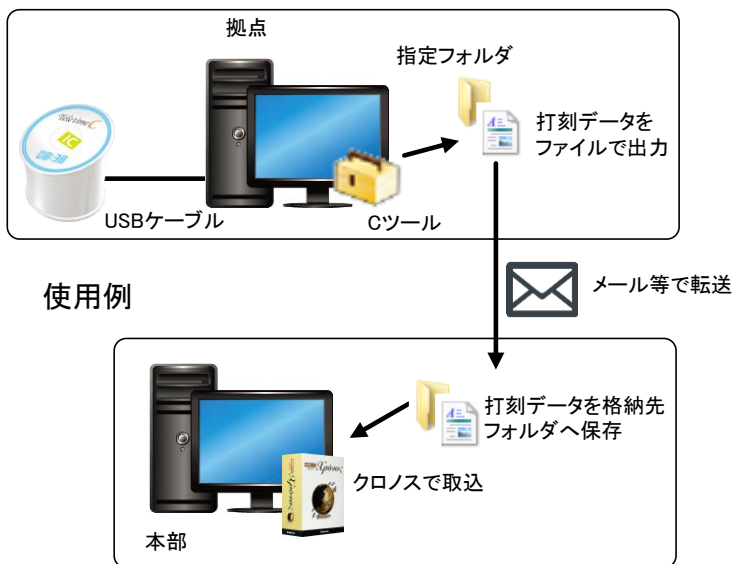
保存フォルダに打刻データがある場合は、以下の注意が表示されます。「OK」をクリックするとデータが上書きされるので気を付けてください。



打刻データの保存に成功すると以下のメッセージを表示します。



取り出した打刻データはクロノスを利用できる環境へメール等で転送し、クロノスの「フォルダ」取込で勤務処理をすることができます。



ユーザー

テレタイム C クラウドのマスター変更、カード変更ができます。
設置場所でカードを登録したい場合は、本ツールを利用してカード番号を登録します。

IDコード	名前	IDm/UID	IDm/UID更新日時	
000000030	石山 信治	011A00E2A00E6D20	2015/01/22 15:29:53	読込
000000040	後田 あ紗	CLEAR	2016/09/28 22:30:51	読込
000000134	海崎 亮二	CLEAR	2016/07/21 18:31:11	読込
000000050	吉田 昌子	CLEAR	2016/01/10 14:22:15	読込
000000147	田富 弘	CLEAR	2016/01/10 14:22:15	読込
000000102	井中 由紀	CLEAR	2016/01/10 14:22:15	読込
000000122	玉中 尚人	CLEAR	2016/06/10 15:29:21	読込
000000154	崎山 琴馬	CLEAR	2016/01/10 14:22:15	読込
000000101	田中 高瀬	CLEAR	2016/01/10 14:22:15	読込
000000103	庵中 信明	012700509F177C82	2016/09/28 22:28:43	読込
000000127	綱引 来入	012700509F177982	2016/09/28 22:32:02	読込
000000158	高井 光太	07F4FC5C00000000	2016/08/10 18:08:47	読込

① マスター変更

クロノスから出力したマスターファイル「user.xml」を指定して、実行するとテレタイム C クラウドへマスターファイルを反映します。

② 絞り込み

読み込んだマスターは絞り込み機能で絞り込むことができます。

IDコード	名前	IDm/UID	IDm/UID更新日時	
000000030	石山 信治	011A00E2A00E6D20	2015/01/22 15:29:53	読込

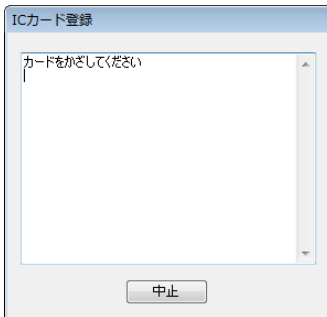
③ カード変更

テレタイム C クラウドに登録されているカード情報を変更できます。

使用しているカードの紛失した場合や、変更したい場合に C ツールを使用して変更することができます。

IDコード	名前	IDm/UID	IDm/UID更新日時		
000000005	庵中 信明	47214A5D00000000	2016/10/21 16:50:34	読込	クリア

「マスター取得」ボタンをクリックして、テレタイム C クラウドのマスター一覧を取得し、変更したい氏名を選択した状態で「読込」ボタンをクリックします。



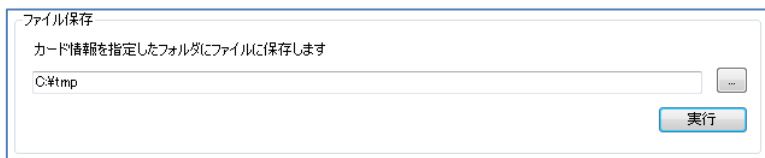
カード番号が登録できる状態になると、テレタイム C クラウドは紫に点滅しますので、変更したいカードをかざしてください。

IDm/UID と、更新日時が更新されていれば、カードの変更が正常に完了されています。

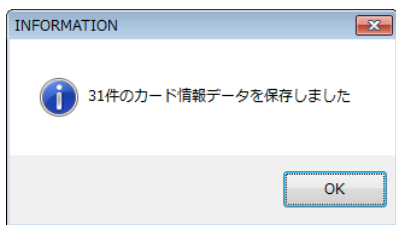
IDコード	名前	IDm/UID	IDm/UID更新日時		
000000005	庵中 信明	011473FC1318A650	2017/04/19 09:24:53	読込	クリア

④ ファイル保存

変更したマスターを指定したフォルダへ保存します。



実行ボタンをクリックで指定したフォルダへファイル名「idm_receive.xml」が保存されます。



「idm_receive.xml」はクロノスへ取り込むことで、クロノス側のマスターが更新されます。



テレタイム C では、カードをタッチするとそれぞれが持つ固有の ID 番号を読み取り、時刻と紐づけます (ID 番号+時刻)。この ID 番号を、クロノスで管理する ID 番号と紐づけることにより、クロノスでの勤怠処理が可能となります。

UID(Unique ID : 固定 I D 番号)とは Mifare(マイフェア)カードで呼称され、IC カード製造時に IC チップに記録され書き換えができない固有の I D 番号です。FeliCa カードでは IDm と呼称されます。

日常の操作

基本操作方法

- ①表面中央に IC カードをタッチします。
- ②正常に読み取ると青の丸い LED が点灯します。



- ③カード番号が未登録の場合は赤の LED が点灯します。



製品仕様

		デレタイムC
通信	LAN	10BASE-T/100BASE-TX
通信速度 *4	LAN	30,000件/32秒
	モデム	なし
非接触ICカード通信最大距離		フェリカ：25mm/弊社マイフェア(TypeA)：20mm
データ	記録件数*5	30,000件
	社員登録人数	3,000名
	停電時の保証	登録されたデータはフラッシュメモリー およびSDカードに保存のため影響なし 時刻は内蔵電池にて満充電状態より5日間保持
USB		micro-B USB 1ポート(電源供給兼用)
内蔵スピーカー		16Φモノラルスピーカ
設置工事		ユーザー側で設置可能
時刻誤差		最大月差±1分以下(弊社テストでは月差±5秒)
時刻補正		NTPサーバー対応(LANタイプ)/上位ソフトから補正可能
消費電力		最大1.5VA
電源	ACアダプター	入力 AC100V 20VA、出力 DC5V 1A MAX:5W
サイズ		98(W)×94(H)×90(D) mm
重量		約183g
動作温度範囲		5℃~40℃
Zaion'nexとの連動		可能
非接触カード		ISO18092(FeliCa)/ ISO14443TypeA
電気用品安全法の対応		内部電源がないので適用外、 ACアダプターにPSEマークあり

保証書

この保証書は以下記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

製品名		
製造番号		
保証期間		まで
保証期間延長		なし
お客様	ご住所	〒
	会社名	TEL
	ご担当部門	
取扱店	住所	〒
	店名	TEL

ノリス株式会社

保証規定

1. お客様の正常なご使用方法のもとで万一故障した場合に、本保証書に記載された保証規定に従い修理させていただきますので、修理の際は本書を付けてご返送ください。
なお、本製品のハードウェア部分の修理及びソフトウェアの修復に限らせていただきます。
データについてはこの限りではありません。
2. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
3. 次のような場合には、保証期間内でも有償修理になります。
 - (1) 説明書に記載のご使用方法及び注意に反するお取り扱いによって発生した故障の場合。
 - (2) 当社及び当社指定のサービス会社以外で、修理・修復・改造された場合
 - (3) 火災・天災・落雷・異常電圧等による、故障・損傷の場合。
 - (4) 使用者側での、輸送・落下等お取り扱いが適当でないため生じた故障・破損の場合。
 - (5) 接続している他の機器に起因して本製品に故障を生じた場合。
 - (6) 本保証書をご提示されない場合。
 - (7) 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を訂正なされた場合。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

テレタイム C

2017年 2月 21日 初版発行

2020年 9月 10日 改 版

開発発売元 **クロナス株式会社**

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町300番地

住友不動産秋葉原駅前ビル15階

TEL 03-3252-7773 FAX 03-6853-7781

<https://www.xronos-inc.co.jp/> mail: support@xronos-inc.jp

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

著作権法により本書の一部または全部の無断複写・複製は禁止されています。

尚、本書の内容は、予告なしに変更することがあります。